

「導入：実践しないと理解できない」

## ■この授業の目的

目的：SPSS での調査データ分析の「実践」をとにかく経験する

- ・とりあえず実践すれば、何が簡単で何が難しいのかがわかる。
  - ・結果が「読めるだけでよい」という人も、実践経験がないとむしろ遠回りになる。
  - ・本当に使うときになってから学習するのでは遅い。
  - ・「社会学」でのデータ分析を意識する（情報処理の授業ではない）。
- 
- ・カバーする範囲
    - 基礎分析
      - 一変量の分析（度数分布表→基本統計量）
      - 二変量の分析（クロス表→連関係数、散布図→相関係数、グループ別の平均比較）
    - 多変量解析
      - 回帰分析は自信をもって使えるようになる
      - 他は「だいたいわかる」を目指す（主成分分析、因子分析、クラスター分析）
    - データの入力・加工
      - データ入力、リコーディング、新変数の計算、分析対象の限定
    - 計量分析のレポート作成
      - 文章の基本構成、図表作成、考察の仕方

### 講義予定

- 第 1 回 導入：実践しないと理解できない
- 第 2 回 基礎分析（1）
- 第 3 回 基礎分析（2）
- 第 4 回 基礎分析（3）
- 第 5 回 重回帰分析（1）
- 第 6 回 重回帰分析（2）
- 第 7 回 重回帰分析（3）
- 第 8 回 クラスター分析（1）
- 第 9 回 クラスター分析（2）
- 第 10 回 因子分析（1）
- 第 11 回 因子分析（2）
- 第 12 回 その他の分析技法
- 第 13 回 計量分析でレポートを書く・読む（1）
- 第 14 回 計量分析でレポートを書く・読む（2）
- 第 15 回 計量分析でレポートを書く・読む（3）

- ・具体的にできるようになってほしいこと
  - 1) 社会学の視点から、それぞれの分析手法のねらいを理解する。
  - 2) SPSS を操作して分析結果の出力と読み取りができる。
  - 3) 目的に見合った分析プランを立案できる。

## ■ SPSS

- ・ SPSS (Statistical Package for Social Sciences) という統計分析ソフトを使う。
- ・他にもいろいろな統計分析ソフトがある (R、Stata、SAS など)。
- ・統計分析ソフトは表計算ソフト (Excel など) と似て見えるが、役割は大きく異なる。

	Excel	SPSS (IBM SPSS)
目的	表計算	統計分析
利点	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一般的でつぶしが利く</li><li>・ 比較的安い</li><li>・ 動作が安定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 統計分析に特化すれば操作が簡単</li><li>・ データのサブ情報 (欠損値等) を整理できる</li><li>・ 分析の過程や結果がたどりやすい</li><li>・ 統計分析ソフトの中では一般的</li></ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特殊な機能を駆使しなければ、普通の分析もできない</li><li>・ 分析の過程や結果を残すには、自分で工夫が必要</li><li>・ うっかりミスをしやすい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 普通の会社ではお目にかからない</li><li>・ 値段が高い</li><li>・ いまいちフレンドリーでない</li><li>・ 出力の再利用がしにくい</li></ul>

※関大の学生は SPSS を個人パソコンにインストールできます。

関西大学 IT センター→サービス→ダウンロードステーション を参照。

## ■ 具体的な授業内容

- ・ 「①操作説明→②とりあえずやる→③意味の説明→④作業課題」を繰り返す。
- ・ 毎回、ミニツツペーパーを提出
  
- ・ 成績 = 授業中の課題 50%  
+ 学期末のレポート 50%      純粋な出席点は無し
  
- ・ 基本的な統計学の知識 (平均、分散、相関係数、検定など) がある方がよい  
(知識が足りないと思う場合、計量社会学 I, II の過年度資料等を参照)
- ・ 統計ソフト (SPSS) に関する知識はゼロであることを前提とする

## テキスト

小田利勝 2007 『ウルトラ・ビギナーのための SPSS による統計解析入門』 プレアデス出版.

## 参考文献

秋川卓也 2006 『文系のための SPSS 超入門 新装版』 プレアデス出版.

岩井紀子・保田時男 2007 『調査データ分析の基礎』 有斐閣.

与謝野有紀ほか編 2006 『社会の見方、測り方：計量社会学への招待』 勁草書房.

筒井淳也ほか編 2015 『計量社会学入門：社会をデータでよむ』 世界思想社.

練習用質問紙

(※望ましいワーディングではありません)

- Q1 性別  
1 男 2 女
- Q2 学年  
1 一年生 (いないはず) 2 二年生 3 三年生 4 四年生 5 その他
- Q3 1週間の授業数(予定で)  
\_\_\_\_\_コマ
- Q4 片道の通学時間  
\_\_\_\_\_分
- Q5 親と一緒に暮らしているか  
1 暮らしている 2 暮らしていない
- Q6 【親と暮らしていない人だけ回答】帰省するためにかかる片道の時間  
\_\_\_\_\_分
- Q7 持っているもの【複数回答】(誰の許可もなく使えるものに限る)  
1 ノートPC 2 プリンター 3 カメラ 4 パスポート 5 どれも無い
- Q8 大学生活で最も大切にしていることをあえて1つ選ぶと……  
1 学業 2 人間関係 3 趣味(部活等を含む) 4 その他
- Q9 大学生生活の満足度(それぞれ0~10点で評価)  
a 全般…………… \_\_\_\_\_点  
b 学業…………… \_\_\_\_\_点  
c 人間関係…………… \_\_\_\_\_点  
d 趣味(部活等を含む) …… \_\_\_\_\_点
- Q10 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

---

今日の課題

- 作業課題① 4~5人のグループで練習用質問紙のデータをSPSSに入力しなさい。
- 作業課題② 「変数ビュー」で「ラベル」「値」「欠損値」を完成させなさい。
- 作業課題③ Q5、Q6の度数分布表を作成しなさい。
- 作業課題④ Q9a~dについて、平均値・標準偏差を比較し、分布の違いを読み取りなさい。
- 文章課題 練習用データをいじって度数分布表や基本統計量をいくつか出力し、結果が自分の予想と異なった質問項目を1つとりあげなさい。その結果について、次の2点をしっかり区別した文章を示しなさい(箇条書きではなく、区別がわかる文章で書く)。
- 1) その項目の回答はどんな分布だったのか、客観的な調査結果
  - 2) 自分の予想とどのように異なり、なぜ予想と違う結果が出たと思うか主観的な解釈
-